

巻頭言

特集：民間病院におけるクリニカルPETの現況と展望

中條 政敬

Guest Editor

この度、本研究会誌の町田喜久雄編集委員長より、2003年3月号の特集を guest editor として組むよう依頼されました。今後断層映像の中心となるであろう FDG-PET が昨年4月に保険採用されましたので、上記特集を組まして頂きました。執筆は民間病院としては、日本で最も早く PET を開始され、実績のある山中湖クリニックの井出 満先生、2000年10月から2年余の経験をお持ちの西台クリニックの宇野公一先生、2002年7月から本格的に稼働を開始された厚地記念クリニック・PET画像診断センターの陣之内正史先生、藤元早鈴病院の谷 敦至先生に依頼しました。それぞれ PET の開始時期が異なり、装置、件数、疾患、ドックと保険診療、問題点、展望なども異なると思われます。先生方には日常診療でたいへんご多忙のなか、執筆を頂き、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。本特集がこれからPET導入を考えておられる先生方や施設に貴重な情報を提供することを確信しております。

(鹿児島大学医学部放射線科)